

ご挨拶

今年の11月、所属する学会でオンラインの国際会議を開催しました。多くの学生も発表しましたが、前回の対面での会議とくらべると発表レベルがとて高くなっていることに驚きました。コロナ禍で海外に行く機会はないものの、オンラインによる教育やYouTubeやNetflixなどで気軽に英語に触れることができたためなのかもしれません。今後の学生の活躍を期待しています。一方、本年はわずかながら海外から本学への来訪が増え、対面による交流ができ、オンラインでは得ることのないコミュニケーションの大切さを感じた一年でした。来年もどうぞ宜しくお願いいたします。

2022年12月

信州大学繊維学部 国際交流推進室長

小林俊一

学内行事

[インド工科大学デリー校より Behera 教授

御一行の来訪]

10月12日、協定校であるインド工科大学デリー校の Behera 教授、学生13名の来訪を受けました。森川学部長より繊維学部での研究についてプレゼンを行い、小林国際交流推進室長、高寺教授と共に活発な意見が交わされました。また、FiI や資料館などの学内施設や、各研究室等を見学し、中には今後繊維学部への留学を考えたいと話す学生もいました。



[オーストリア ウィーン天然資源大学より

Thomas Rosenau 教授 御一行の来訪]

10月25日～27日、オーストリアのウィーン天然資源大学(BOKU)の Thomas Rosenau 教授、教員1名、学生15名の来訪を受け、信州大学大学院の次世代高度人材「地域発志士」育成プログラム学生と交流会を行いました。交流会では研究紹介や学生同士のディスカッション、ラボツアーの他、学生同士で市内散策を行うなど、将来的な共同研究・留学等に繋がる実りある時間となりました。



外国人留学生への支援

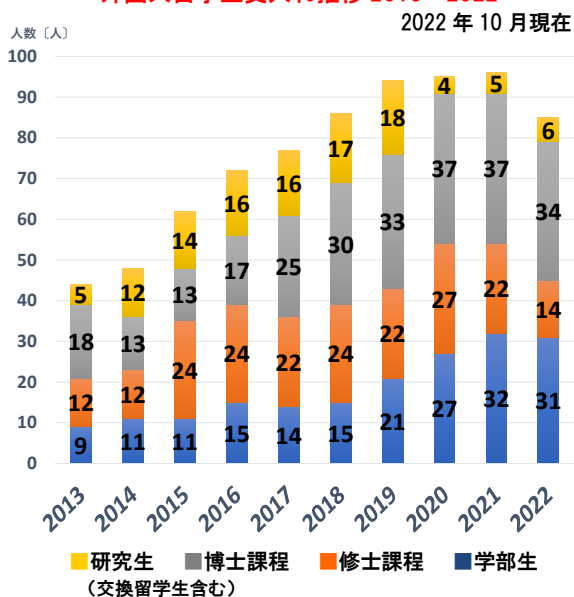
留学生支援の会では、例年成績優秀者かつ奨学金を受けていない私費外国人留学生を対象に生活支援金の給付を行っています。今年度は12月22日に贈呈式が開催され、12名の留学生に生活支援金が給付されました。生活支援金を受け取った修士2年生の王迦安さんは「この度、生活支援金をご寄付くださった信州大学繊維学部留学生支援の会の皆様のご厚意に誠に感謝申し上げます。我々留学生は、今後も、より勉学に励んでまいります。これからも、日本にいる外国人の一員として、社会貢献し活躍していきたいと思っております。ありがとうございました。」と感謝の言葉を述べました。コロナ禍の影響が続く世の中ではありますが、留学生の皆さんの日本での学びが、より充実したものとなればと思います。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。



繊維学部 外国人留学生の動向

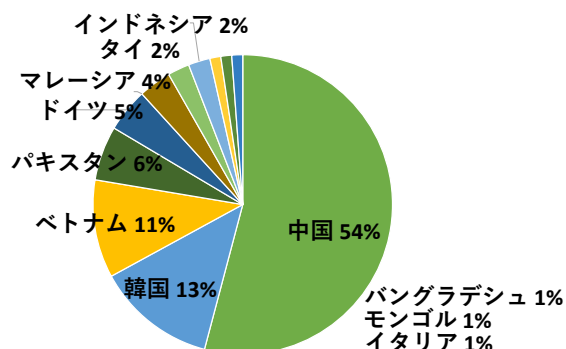
上田キャンパスでは、9月22日に、2022年度9月期卒業証書・学位記授与式および2022年度10月期信州大学大学院入学式が講堂にて執り行われました。博士課程4名、修士課程4名の留学生を送り出し、新たに博士課程5名、修士課程2名を迎えました。

外国人留学生受入れ推移 2013～2022



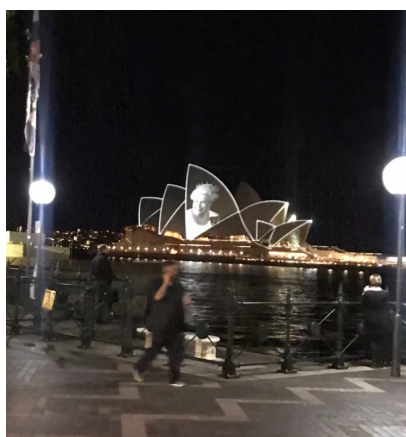
外国人留学生出身国(地域) 割合

2022年10月現在



海外研修を終えて

オーストラリアウーロンゴン大学附属カレッジ英語研修プログラムに参加しました、学部3年の岩下颯太です。英語の授業では学生が楽しみつつ学べるようになっておりよかったです。例えば、オーストラリアの動物の名前や地名などを早押しクイズでみんなで競ったりしました。また、動物園やビーチや植物園などさまざまなexcursionがありよかったです。特に動物園ではコアラやカンガルーを見ることができて嬉しかったです。ホストファミリーはとても優しくかったです。ほぼ毎日寝る前に映画を一緒に見ました。楽しいひとときでした。期間的に一か月と短い時間だったのですが、内容の濃い一か月になりました。また機会を見つけて海外へ行きたいです。



エリザベス二世が映るオペラハウス

国際交流推進室 室員紹介（教員）

小林 俊一(室長、バイオエンジニアリングコース)
金 翼水(副室長、機能機械学コース)
マクナミー キャシー(副室長、応用分子化学コース)
鮑 カ民(機能機械学コース)
ハニウッド マイケル(感性工学コース)
朱 春紅(先進繊維工学コース)

本ニュースへのご意見、ご要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス (fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆国際交流推進室ホームページ◆
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>